【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-513959(P2007-513959A)
【公表日】平成19年5月31日(2007.5.31)
【年通号数】公開・登録公報2007-020
【出願番号】特願2006-543955(P2006-543955)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　33/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/785　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/722　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/22　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　33/30
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｋ　33/26
Ａ６１Ｋ　31/785
Ａ６１Ｋ　31/722
Ａ６１Ｋ　31/14
Ａ６１Ｐ　1/02
Ａ６１Ｐ　11/02
Ａ６１Ｐ　13/02　１０５
Ａ６１Ｐ　17/00　１０１
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　31/16
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　31/22
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　47/18

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月7日(2007.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ウイルス感染を緩和するための組成物であって、イオン性多価金属成分、陽イオン性ポリマー、および陽イオン界面活性剤を含み、イオン性多価金属成分が塩化亜鉛であり、陽イオン性ポリマーがキトサンであり、陽イオン界面活性剤が塩化ベンザルコニウムまたはベンゼトニウムである、組成物。
【請求項２】
塩化亜鉛が0.01％～10％（重量）の濃度範囲にあり、キトサンが0.05％～5％（重量）の濃度範囲にあり、塩化ベンザルコニウムまたはベンゼトニウムが0.01％～1％（重量）の濃度範囲にある、請求項1記載の組成物。
【請求項３】
水および保存料をさらに含む、請求項1または2記載の組成物。
【請求項４】
薬学的に許容される賦形剤をさらに含み、局所投与用に製剤化されている、請求項1～3のいずれか一項記載の組成物。
【請求項５】
鼻内噴霧薬として製剤化されている、請求項4記載の組成物。
【請求項６】
軟膏、溶液、ペースト、ゲル、懸濁液、ローション、クリーム、エアロゾル、ドレッシング、包帯、またはラッカーとして製剤化されている、請求項4記載の組成物。
【請求項７】
ウイルス感染が、インフルエンザウイルス、ライノウイルス、コロナウイルス、パラインフルエンザウイルス、呼吸器合胞体ウイルス、HIV、またはヘルペスウイルスによって引き起こされる、請求項1～6記載の組成物。
【請求項８】
ウイルス感染を緩和するための薬剤の作製における、陽イオン性ポリマーおよび陽イオン界面活性剤の使用であって、陽イオン性ポリマーがキトサンであり、陽イオン界面活性剤が塩化ベンザルコニウムまたはベンゼトニウムである、使用。
【請求項９】
薬剤がイオン性多価金属成分をさらに含み、イオン性多価金属成分が塩化亜鉛である、請求項8記載の使用。
【請求項１０】
薬剤が鼻内噴霧薬として製剤化されている、請求項8または9記載の使用。
【請求項１１】
ウイルス感染が、インフルエンザウイルス、ライノウイルス、コロナウイルス、パラインフルエンザウイルス、呼吸器合胞体ウイルス、HIV、またはヘルペスウイルスによって引き起こされる、請求項8または9記載の使用。
【請求項１２】
ウイルス感染を緩和する方法において使用するための組成物であって、陽イオン性ポリマーおよび陽イオン界面活性剤を含み、陽イオン性ポリマーがキトサンであり、陽イオン界面活性剤が塩化ベンザルコニウムまたはベンゼトニウムである、組成物。
【請求項１３】
イオン性多価金属成分をさらに含み、イオン性多価金属成分が塩化亜鉛である、請求項12記載の組成物。
【請求項１４】
鼻内噴霧薬として投与するための、請求項12または13記載の組成物。
【請求項１５】
ウイルス感染が、インフルエンザウイルス、ライノウイルス、コロナウイルス、パライ

ンフルエンザウイルス、呼吸器合胞体ウイルス、HIV、またはヘルペスウイルスによって引き起こされる、請求項12または13記載の組成物。